

△産業宣教 ローマを見た産業人(ロマ 16:25-27)	△レムナント伝道学 レムナントの昼の時間(エペ6:18)	△核心 見張り人、やぐら、光(イザ 62:6-12)	△散らされた弟子たち 地の果てに(使 1:8)			
<p>□序論</p> <p>1. 産業人</p> <p>1) 教会に 237 やぐらを作ることにいのちをかければ、すべてが回復</p> <p>2) 現場を生かすやぐらを建てるべき</p> <p>3) 産業のやぐらが建たなければならぬ(使 18:1-4)</p> <p>2. 見張り人(やぐら)</p> <p>1) 使 9:1-15 キリストが立てた人物がパウロ</p> <p>2) 使 2:10 の人物がローマに入って教会になっている。</p> <p>3) ロマ 16 章 使 2:10 の中にいた人物がロマ 16 章の人々を立てた</p> <p>3. 導き</p> <p>1) 使 13:1-4 2) 使 16:6-10 3) 使 19:1-7</p> <p>マルコの屋上の間、そのとおりに導かれるべき。やぐらを建てる時にも、聖霊の導きを受けて神様の重要なことを見るようになる。門が閉ざされても、神様の大きな計画を成し遂げるようになる。ローマまで行く準備だ。</p> <p>ローマを見た産業人 やぐらを建てる最も核心はローマだ。そこに 237 があるためだ。</p> <p>□本論 237-5000 種族</p> <p>1. 今日のローマ</p> <p>1) 弟子 今日ローマは弟子を見つけることができる所だ。これが鍵だ。現場にいる人を立てた方がよい。</p> <p>2) 癒やし マコ 16:15-20 に癒しができる所が今日のローマだ。</p> <p>3) 地の果て 地の果てを見ることができる現場がローマだ</p> <p>2. 実際のローマ</p> <p>1) 使 19:21 は第 3 次伝道旅行を終えて動きが準備されたこと</p> <p>2) 使 23:11 は法廷に立った。時刻表が準備されたこと</p> <p>3) 船-機会 ローマに行くための大きい船に乗ることになったのは、ものすごい機会を与えられたこと</p> <p>3. 永遠のローマ-隠されていたこと 神様が私たちに本当に 237 を生かす隠されていたやぐらを与えられること</p> <p>1) 永遠の前に隠されていたこと</p> <p>2) 奇跡 神様が世々に渡って隠されていたことをパウロに与えられ、多くの弟子に分かるようにされたことは奇跡だ。</p> <p>3) とこしえまで とこしえまでであることを隠されていて与えられるということだ。それゆえ、私たちが教会の中で、多民族、外国人一人に会ったというのは本当に奇跡だ。準備された弟子が来ていることを見ることできなければならない。</p> <p>□結論_適用</p> <p>1. 237・癒やし・サミット(三つの庭)パウロは追われているのに三つの庭をした。異邦人探しに入って行き、病人を癒やし、会堂に入った</p> <p>2. 専門性 レムナントは専門性を学ぶことに焦点</p> <p>3. 産業-光 重職者は産業が光の経済になるべき。神様は、この光の経済を準備しておかれた。</p>	<p>□序論_集中</p> <p>1. 三つの祈り集中ができなければならない。</p> <p>1) 祈り(現場)現場を置いて祈る集中</p> <p>2) 呼吸集中 疲れない力を持つことができる呼吸集中</p> <p>3) 学業</p> <p>△この三つが同時に編集されるように祈りなさい。</p> <p>2. 空いている時間-隙</p> <p>三つの祈りを持って空いている時間、隙を活用しなさい。</p> <p>3. 余裕 このような祝福を持って余裕を味わうこと</p> <p>□本論</p> <p>1. 武装しなければならぬ。</p> <p>1) 救いの確信 2) 答えの確信</p> <p>3) 真理の確信 4) みことばの確信</p> <p>5) 信仰の確信 6) 現場</p> <p>7) 疎通の確信</p> <p>2. 現場 このように武装して、限りない現場に行くべき。</p> <p>1) 受容 2) 超越 3) 答え</p> <p>これがみなさんの学業になるべきだが、いつも受容、超越、答えを受けるのだ。</p> <p>3. 常時祈りの奥義 常時祈りはいつでも味わうことができる。</p> <p>1) 難しい現実</p> <p>2) ただ・唯一性・再創造 ただが見える。このことは神様が与えられたことであるために、唯一性と再創造がついてくる。</p> <p>3) 未来 すると未来を見るのだ。レムナントが何かを見なければならぬ。そのような機会が全くない。それゆえ、金土日時代で未来を見るようにさせなさい。</p> <p>□結論</p> <p>レムナントは実際に 3・9・3 の祝福を味わう祈りの中で</p> <p>1. タラントを見つけて 2. 専門性</p> <p>3. 現場性を育てるのだ。</p>	<table border="1" data-bbox="1070 220 1429 244"> <tr> <td>Trinity</td> <td>Throne</td> <td>Age</td> </tr> </table> <p>三位一体の神様が、目に見えないように、御座の力で私たちとともに働かれて時代を生かすように命令された。</p> <p>正確な契約を握ったとき、この答えは起こる。</p> <p>今日この場合は、伝道者がマルコの屋上の間に集まる現場だ。</p> <p>使 1:3 オリーブ山でイエス様が使命者と呼んでミッションを与えられたが、その集いだ。</p> <p>使 2:1-47 明日に礼拝をささげに行つたときは、このことが成就するマルコの屋上の間の現場だ。</p> <p>3 -創造のみことばを与えられ、救いの働きを成し遂げられる。力の働きが起こる。</p> <p>9 -神の国(こと)が成り立って時空超越する動き、237 の動きが起こる。私のいのちを生かして(創 1:27)、私のたましいが新しい力を得て(創 2:7)、私の現場に神様の答えが起こる(創 2:18)。私、教会の働き、私の産業の現場に空前絶後の答えが来る。</p> <p>3 -過去が祝福になって、現在私たちがすべき時代的な答えが来て、未来が見える。</p> <p>□序論_正確な契約(みことば)を握つたとき</p> <p>1. 詩 103:20-22 人が全く知らないこと</p> <p>2. 使 1:11 白い服を着た人々が</p> <p>3. 使 27:24 神様の御使いが仕える(ダニ 10:10-20)祈りの時間に神様のみことばを成し遂げる主の霊が動き始める。</p> <p>黙 8:3-5 祈ったことが御座の器にみな入れられる。主の御使いがこれに仕える。</p> <p>□本論_使 1:3 人を通してこの働きを成し遂げられる。</p> <p>1. 光を持った者-見張り人は(やぐら)を作れば、光を放つことができる。</p> <p>1) 創 1:3 創造の光</p> <p>2) イザ 62:6-12 主の栄光があなたの上に臨んだのでやぐらを建てて見張り人として起きなさい。</p> <p>3) ヨハ 1:11、マタ 5:13-16、1 ペテ 2:9 光として来られたイエスを信じる信仰によって光になった。この光を伝えることが光を放つこと</p> <p>2. 光を照らす者-やぐらを建てなさい</p> <p>7 ミッション-神の国のことを伝達して成し遂げなさい。ただが方法だ。地の果てまで行くようにする。私の 237 を見つけなさい。祈りの力を味わう裏面契約を見つけてなさい。確実な未来を握りなさい。まことの背景である再臨主、さばき主として来られるキリスト光を照らすこと</p> <p>3. 暗闇にいる者を光に来るようにさせる者</p> <p>1) 237 (異邦人の庭)</p> <p>2) 癒やし(祈りの庭)</p> <p>3) サミット(子どもたちの庭)を作る</p> <p>□結論_一度は体験</p> <p>申 6:4-9 刻印されるように</p> <p>I サム 7:1-15 ミツバ</p> <p>II 列 6:8-24 ドタンの町に集まりなさい。</p> <p>イザ 62:6-12 万民が帰ってくるようにレムナントを集めるやぐらを建てて旗を揚げなさい。</p> <p>使 2:1-47 体験</p> <p>40 日一人で、金土日時代を開いてすぐだ。</p> <p>10 日契約を受けて降りてきてマルコの屋上の間に集まった。</p> <p>使 2:42、46-47 みことばだけを受けたがすべての問題解決、私のそばにいる信徒が最も大事な存在、救いの祝福を味わうのが最も大切なこと、祈りに専念するのだ。毎日宮で、家々でみことばが働くのが基準</p>	Trinity	Throne	Age	<p>イエス様が 40 日間訓練させられたことは、流浪の民時代の備え(準備)だ。イスラエルの人々が 2 千年の間散らされたが、その中に福音を持っている人がいた。それを指して散らされた者と言う。</p> <p>ピリ 1:4 - 「あなたがたすべてのために祈るたびに、いつも喜びをもって祈り、感謝しています」この祝福を受けたことを指して時空超越と言う。それゆえ、目に見えないやぐら(70 年-マルコの屋上の間、散らされたところ、集めるやぐら、237 やぐら)を建てるのだ</p> <p>□本論</p> <p>1. 方法は一つしかない。ただ。</p> <p>3・9・3 をもって祈れば</p> <p>1) 発見(ただ)</p> <p>2) 味わう-待つ(このとき、唯一性の答えが来る)</p> <p>3) 挑戦するようになる。(再創造)</p> <p>2. 地の果てへ行く順序</p> <p>1) 教会内福音化(集中)</p> <p>2) 教会信徒-職分者など</p> <p>3) 教会に通うのに間違った福音を持っている人々が多い。</p> <p>4) 私の地の果てがなければならない</p> <p>3. 証人として行くために</p> <p>1) 聖霊の力が必要</p> <p>2) 神様は力を与えてくださる</p> <p>3) 証拠を与えてくださる</p> <p>すると、正確な確認すればよい。確認がなされるべき、正確なみことばを握るのだ。</p> <p>3・9・3 は続けて成り立つことだ。</p>
Trinity	Throne	Age				

△区域メッセージ (第 19 週) 神の方法と 25 の答え (エペ 1:1-3)	△聖日 1 部礼拝/子どもの日、父母の日 家族の金土日時代を開くべき (申 6:4-9)	△聖日 2 部礼拝 レムナントのサミット訓練 (ヨシ 1:1-9)
<p>神様の方法を分かれば 25 の答えを受ける。それゆえ、神様の方法をなぜ与えられたのかを知るべき。</p> <p>□序論_サタンの方 1. エデンの園 (創 3:4-5) -エデンの園でサタンが人間を完全に倒した。人間は私以外は分からないことを知って「これを食べれば、あなたは神のようになる」と言ったのだ。 2. ネフィリム事件 (創 6:4-5) -サタンは人間が私、私のことしか分からないことを知って攻撃したのだ。本人も知らずに、サタンに捕えられてしまったのだ。 3. バベルの塔事件 (創 11:1-8) -人は私の名が知られば力が生じ、誰かが私を認められればとても喜ぶ。これをサタンが知って攻撃したのだ。</p> <p>△キリスト (1 ヨハ 3:8、ヨハ 14:6、マコ 10:45) -「その悪魔のわざを打ち破るために、神の御子が現れました」「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです」キリストはすべてのわざわいをなくす贖いの代価として来られた。これが神様の方法だ。</p> <p>□本論 1. 信仰-キリストを知って信じることだ。 1) 永遠の前のキリスト-家系の問題を終わらせたのだ。 2) 私を救われた受肉されたキリスト-それで受け入れという言葉を使う 3) 復活されたキリスト-イエス・キリストの御名で祈るのにサタンがぶるぶる震える。 4) 再臨主キリスト-未来まで終わらせた。 5) さばき主キリスト-私たちの背景は絶対に変わらない。</p> <p>2. 信じれば土台となって伝道の実が起る。 1) マタ 4:19 2) 創 12:1-10、創 13:14-18 私たちが創 3、6、11 章にいるというところを知るそのときからみわがが始まる。そのときから祭壇を築き始めた。 3) 使 5:1-10 常に私たちに付いて回る不信仰が崩れる。</p> <p>3. 体質になる時から征服が始まる。 1) 創 22:1-20、26:10-24 確実な福音体質になったその時から、百年のことと泉の源泉、レホボテの祝福が臨んだ。 2) 出 3:18 モーセがホレブ山で体験してからエジプトの暗闇が崩れ始めた。 3) イザ 7:14 (ダニエル) 「処女が身ごもっている。そして男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。」この契約を信じたダニエルが王を動かした。 4) マタ 16:16 ある日、キリストの契約をマルコの屋上の中で体験したペテロに神様は世界を動かす力を与えられた。</p> <p>□結論_キリスト-鍵 (キリストは御座の門を開ける鍵だ) △使 1:1、1:3、1:8 これが聖書の結論で、残りは答えだ。この鍵で御座を動かすことができる。</p>	<p>□序論_金土日時代を開かなければならない理由 1. 最後の機会-祈り方を知らない次世代 1) 祈りが分からなくてエジプト根性、奴隷根性、荒野根性そのまま持っている。 2) どこにいても生き残って世の中を生かす主役として立たなければならない 3) 祈りが分らず、タラント発見できず、霊的問題にあって巻きこまれて通う。 2. みなさんと次世代が世の中を十分に勝つようにさせなければならないためだ。 1) 理由-世の中は全部お金、暗闇、サタンに奴隷、捕虜、属国、流浪の民になっている。 2) みなさんと次世代にある本当の使命 (1) 申 6:4-9 カナンの地に入らなければならないのだ。 (2) サムエルとミツバ運動 私たちが世の中に負ければ次世代が苦労する (3) エリシャとドタンの町運動 (4) 次世代と見張り人運動「見張り人になりなさい! 24 主を休ませないようにしなさい。わたしがあなたとともにいるから、万民のために旗を揚げなさい」 3. イエス様が言われたことをすべきだ。 1) ルカ 23:28 「あなたの子どもたちのために泣きなさい」 2) ヨハ 21:15-18 「わたしの子羊を飼いなさい」 3) 使 1:1-8 弟子をオリブ山に集められた</p> <p>□本論_何をしたのか 1. 暗闇に勝つ祈りを教えた (使 1:1-8) 1) 三位一体の神様-創造のみことば、救いの働き、力で働き 2) 御座の力 (1) 御座、時空超越、237 (2) 私の中に臨むこと (3) 空前絶後 3) 3 時代の祝福-過去、今日、未来を生かすこと 2. ミッションを与えられた。 1) 神の国を成し遂げなさい。 2) 方法はただ。 3) 地の果てだ。 4) 私の 237 を生かすことだ。 5) 裏面契約を正確に握り味わって待ちなさい。</p> <p>3. 体験しなさい-イエス様が与えられた約束を約束で終わらせずに体験しなさい 1) ここが会堂になって、パウロが教えたことを教えなければならない (1) キリストの当為性 (使 17:3) (2) 礼拝と祈り (使 18:4) 世の中だまされてはならない。世の中を征服するように教えるべき (3) 学業 (使 19:8) 「神の国のことを大胆に語った」 2) 刻印させなさい (1) 申 6:4-9 私の考え、たましいの中に刻印させなさい。 (2) 40 日 (3) マルコの屋上の間 (10 日) みなさんが受けなければならない当然の、緊急の祝福 3) 使 2:42、2:46-47 「毎日宮で、毎日家々で」</p> <p>□結論_まことの答え 1. 24-神様が 24 ともにおられることが最高の答えだ。 2. 25-神の国、証人になる。 3. 永遠-永遠の作品が出てくる。</p>	<p>10 分黙想 (3・9・3) 創造のみことばで、呪いを打ち壊されたキリストの働き、聖霊の働きが私に臨みますように。私に御座、時空超越、237 を生かす力が臨みますように。私のいのち、たましい、生活の中に。空前絶後の恵みを与えてください。私の過去、現在、未来が生かされますように。</p> <p>定刻黙想が、ある日、成される。黙想は御座を動かすことだ。これが私に臨むように長く呼吸して祈りなさい。ある日、どんな状況に会っても答えが出てきて、力ができて、祈りが成される (24)。私の事業が成され現場が生かされる (25)。確実なことが来るので、揺れる必要がない (100)。徐々に癒やし、サミットになる。金土日時代を開いて教会中心にはやく始めなさい。すでに祈りができないほど、違うことでたくさん刻印されている。それを変えることができるのは、これだけだ。</p> <p>□序論_新しい刻印-モーセとともにいたようにあなたとともに 1. 出 5:1-12:46 羊の血を塗る日、出てきたのを見た。 2. 出 14:1-13 紅海が分かれるのを見た。 3. 幕屋-三つの祭りの力を見た (レビ記) 4. 12 部族の使命と未来、カナンに入らなければならない理由を分かった (民数記)。 5. 刻印・根・体質を変える時間 (申命記)</p> <p>□本論 1. 神様が与えられたこと <b>使命</b> <b>ヨシ 1:3</b> -すでに与えた 1) 荒野の道、問題が多いが心配してはならない。 2) カナンに行くことは神様の絶対計画 3) 契約 (ヨシ 1:5) -問題が来るたびにみことばを見つけなさい。 2. 神様がともにおられること <b>アイデンティティ</b> <b>姿勢</b> 1) ヨシ 1:6 強くあれ。雄々しくあれ。父祖たちに与えると誓った地を、この民に受け継がせる 2) ヨシ 1:7 ただ強くあれ。雄々しくあれ。契約を握って揺れなければ栄える。 3) ヨシ 1:9 恐れてはならない。おののいてはならない。わたしがあなたとともにいるということだ。 3. 神様がともにおられたこと <b>証人</b> <b>契約を信じた結果</b> 1) ヨシ 3:1-13 ヨルダンを渡りなさい。紅海を渡ったことを体験しなさい。次世代のために記念碑を立てなさい。 2) ヨシ 6:1-20 六日だけ不信仰しなくてもエリコは崩れる。最後の日、いっせいにときの声をあげれば崩れる。 3) ヨシ 10:10-14 地球が止まる空前絶後の答え</p> <p>□結論_ヨシヤ、カレブの<b>出会い</b>-福音を持つ祈りの人との出会いにすべてのことが成される 1. 絶対主権を信じる。カナンに入るのは絶対計画、荒野の道で神様が与えられた約束は絶対契約、苦難があっても、なくてもその道に従って行くのは絶対旅程、カナンの地に入るのは絶対目標 2. 絶対出会いの中に 3. 絶対使命が出てくる。 △カレブは危機の時ごとに現れて契約を語った。契約を握ってだまされなければ良い。</p>